

令和5年3月15日

保護者の皆様へ

愛西市立佐屋小学校長
吉 次 章 浩

学校評価 保護者アンケート結果のお知らせ

早春の候、保護者の皆様には、日々、学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。ご多用のところ、保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。多岐にわたり、たくさんのご意見をいただきました。次年度からの佐屋小学校の指針としていきたいと思ひます。

1 保護者アンケート結果（3年間の推移）

4段階評価

	教育計画・指導	R 2	R 3	R 4
1	学校は、読み・書き・計算などの基礎学力定着のため、きめ細かい指導を行っている。	3.06	↗3.09	↗3.11
2	学校は、一人一人を大切にしたい授業を行っている。	2.90	↗3.01	↘2.94
3	学校は、楽しく分かりやすい授業を行っている。	3.00	↗3.12	↘3.08
4	学校は、I C T機器（コンピュータ、タブレット、インターネット、プロジェクター、実物投影機など）の使用によって、学習効果を高めている。	2.92	↗3.21	↘3.04
5	学校は、子どもの良さや努力したことなどを認めている。	3.15	↗3.23	↘3.21
6	学校は、「生きる力を育む」というねらいをもって、指導している。	2.94	↘2.91	→2.91
7	学校は、外国語・外国語活動や情報教育を、ねらいをもって効果的にしている。	2.83	↗2.84	↘2.77
8	学校は、コロナ禍の中で活動内容の充実した行事を計画し、しっかりと運営している。	3.06	↗3.19	↘3.16

	学 校 経 営	R 2	R 3	R 4
9	学校は、児童の不適切な言動に対し、きちんと指導している。	2.85	↗2.92	↗2.94
10	学校は、困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応している。	2.94	↗2.99	↗3.06
11	学校は、いじめの早期発見・再発防止に力を入れている。	2.83	↗2.91	↗2.92
12	学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も含め、子どもたちが、安全に安心して過ごすことができるようにしている。	3.20	↗3.23	↗3.29
13	学校の施設・設備はきちんと整っている。	2.88	↗2.95	↘2.94
14	学校は、教育活動の様子や情報を保護者にきちんと伝えている。	3.00	↗3.05	↘3.00
15	学校は、「開かれた学校」に向けて努力し、保護者・地域の願いに応えている。	2.96	↘2.95	↗2.96

	子どもたちの育ち	R 2	R 3	R 4
16	子どもたちは、いろいろなことに意欲的に取り組んでいる。	3.08	↗3.15	↘3.11
17	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	3.29	↗3.34	↗3.35
18	子どもたちは、きちんとあいさつをしている。	2.87	↗2.94	↘2.89
19	子どもたちは、交通ルールをきちんと守っている。	2.94	→2.94	↗2.98
20	子どもたちは、ていねいな言葉遣いをしている。	2.55	↘2.51	↘2.50

合計	2.96	↗3.03	↘3.01
----	------	-------	-------

回答数398 回答率90.2%（昨年度回答数405 回答率92.0%）

- ➡ 本年度の評価は、昨年度と比べ8項目で高い評価となり11項目で低い評価となりました。
- ➡ 「教育計画・指導」は、昨年度より低くなっている項目が多く見られました。項目5が最も高い評価でした。日ごろから担任をはじめ、すべての教職員で子どもたちの良さを認めることを意識していますので、この結果についてはうれしく思います。一方で項目7が最も低い評価でした。外国語の指導は専科の教員とALTが協力して行い、専門的な指導をすることができています。しかし、まだ外国語が教科化されて間もないこともあり、まだ保護者の方が実感できるレベルには達していないと考えられます。
- ➡ 「学校経営」は、全体的に上昇しているものが多く、項目12が最も高い評価でした。新型コロナへの対応のため、保護者の皆様にも学校行事の人数制限や検温の実施等でご協力をいただいた結果だと考えます。ご協力ありがとうございました。一方で項目11が最も低い評価でした。いじめはどの学級でも起こるものと捉え、Q Uアンケート、生活アンケート、教育相談などを通して、まずは早期発見に努めます。
- ➡ 「子どもたちの育ち」は、項目17が最も高い評価でした。これは学校としては最もうれしい結果です。この結果に慢心することなく、さらに高い評価が得られるように取り組んでいきます。一方で項目20が最も低い評価でした。昨今、言葉に対する関心が高まっています。言葉の乱れは心の乱れとも言われます。まずは教師が率先して正しい言葉遣いをし、子どもたちに伝えていくことが大切だと考えます。

2 保護者の皆様の主な声

1 学習指導について

- 授業の中に話し合いをもっと入れて、意見交換し合う場をたくさん作るべきだと思う。
 - ➡ コロナ禍においては、グループでの話し合い活動に制限が加えられ、学校でも話し合い活動自体を控えたり、話し合いを行う際にはフェイスシールドを着け、できる限り短時間で終わるようにしたりするなどの取組を行っていました。そのため、新学習指導要領において重視されている「主体的・対話的で深い学び」が達成されにくく、何とか工夫して取り組んでいるという状況が続いておりました。
しかし、来年度の5月8日からは、新型コロナウイルス感染症が5類に変更になるため、そのような状況は解消されていくと思われます。学校としても、早く子どもたちが自由闊達に意見を言い合える、話し合い活動が行われるようになってほしいと思っています。そして、その中で多様な意見にふれ、認め合う雰囲気をつくっていきたいと考えています。
- タブレットの持ち帰りが少なく、タブレットで何をやっているのか、何ができるようになったのか分からない。せっかく配備されたものを、もう少し活用できたらいいと思います。
 - ➡ 授業参観などでも見ていただいている通り、学校での使用頻度は確実に増えています。毎時間、どこかの学級の授業で担任か児童が使用しているような状況です。子どもたちはタブレットの操作に慣れ、学習に生かすことができているようです。また、定期的にICT支援員が授業をサポートする時間もあり、専門的な知見から指導をしていただいています。そのおかげで学年の発達段階に応じて系統的にタブレットやアプリの使い方の学習を進めることができているようです。
昨年度は「タブレットを持ち帰ると、週末さわりっぱなしになってしまうので月1回程度ならよいと思います」「持ち帰りは、破損などの心配があるので、できれば学校のみでの使用を希望します」などの意見をいただきました。タブレットに慣れたこともあってか、実際に本年度の学校でのタブレットの破損件数は増加しました。そのため、学校としては家庭に持ち帰らせることに慎重になり、本年度は持ち帰りの回数を減らすことになってしまいました。しかし、家庭の方でも効果的にタブレットを活用させたいとお考えの方も見えるようです。もちろん学校でも指導はしますが、家庭に持ち帰った後の管理や使用に関しては、家庭にもご協力をいただくことになるとと思います。より効果的に学習に活用できるよう、家庭への持ち帰りの回数も含めて検討していきたいと思います。

2 登下校・地域生活について

- アプリの導入をしてほしい。欠席や早退の連絡など。通学団でも共有できるといい。コロナやインフルエンザで休む時にも集合場所へ行って休みを伝えなくちゃいけないのはおかしい。
 - ➡ 本校は電話回線が2回線しかなく、学校規模に対して少ないという指摘があります。実際に朝の欠席連絡においてなかなか電話が繋がらず、ご迷惑をおかけしたこともあったかと思います。そこで、他校での取組を参考に本校でも「欠席等連絡フォーム」を活用した連絡を来年度から正式に行うことにいたしました。先日お知らせした通り、現在は試験運用期間中であり、実際に使っていただいた方もお見えになるのではないのでしょうか。この期間中にいただいたご意見を参考にして来年度の正式運用につなげていきたいと考えておりますので、よりよい運用に向けて率直なご意見をいただけると助かります。
ただ、通学団への連絡や情報の共有については、個人情報保護法の関係やシステム上、難しい面がございます。お手数ですが、通学団・児童館・ふれあい館への連絡はこれまで通り家庭から直接行っていたきたいと思います。通学団への連絡方法については、来年度の4月21日（金）に行われる地区別集会で確認できるとよいと思いますので、ぜひ多くの方に出席していただきたいと思います。
- ヘルメットを被らずに自転車に乗っている子どもを多く見かけるのでしっかり指導してほしいです。
交通ルールについて、学校や交通指導員さんだけに頼るのではなく、家庭で個人個人が身に付けるようにした方がよいと思います。
 - ➡ 交通安全に関しては、学校でも毎年、交通安全教室を行ったり、必ず長期休業前に生徒指導担当から話をしたりしています。また、地域の方からの情報が入るたびに、指導を繰り返し行っています。今年度は「道路で遊んでいて危ない」「子どもが急に飛び出してきて危険な思いをした」という情報をよくいただきました。
しかし、登下校中や下校後は、勤務時間や物理的な人数の関係もあり、教職員だけで十分な対応をすることはできません。（あまり知られていませんが、登下校中は法的には「学校管理下ではない」と判断されています）そのため、登下校は交通指導員さんをはじめ、ボランティアやPTAの方に助けていただきながら、子どもたちの安全を見守っているというのが現状です。もちろん、学校でも粘り強く指導は続けますが、子どもたちの命を守るため、家庭でのご協力もお願いいたします。

3 今後の取組について

保護者アンケートにたくさんのご意見をいただきありがとうございました。すべてのご意見にお答えするのが本意ではございますが、紙面の関係上、主なものに限らせていただきました。皆様のご意見をよりよい学校運営に向けて参考にさせていただきます。また、お気づきの点やお問い合わせ等ございましたら、ご遠慮なくお知らせください。今後とも、子どもたちのために、使命感をもって、精一杯努力して参ります。ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。